



# 基本研修

# 短期研修

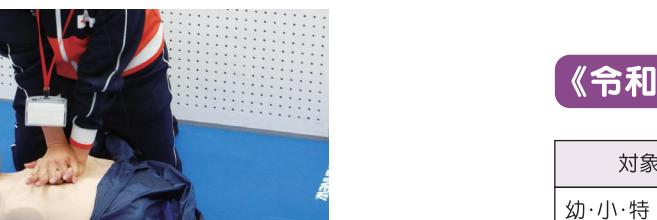
# 断続研修

# 長期派遣研修

教員の使命と職責の重要性を踏まえ、教員が絶えず研究と修養に励む機会を提供するとともに、その職責の遂行に努めることができる資質の向上を図ります。

## 《令和4年度基本研修(体育研究所関係分)》

小学校	・小・義務教育・特別支援学校 若年教員研修1年目
中学校	・中・義務教育・特別支援学校 若年教員研修1年目
	・中・義務教育・特別支援学校 中堅教諭等資質向上研修
高等学校	・県立学校等若年教員研修会1年目
	・県立学校等若年教員研修会2年目
	・県立学校等若年教員研修会3年目
	・県立学校等中堅教諭等資質向上研修会
	・県立学校等指導教員・教科指導員研修会
養護教諭	・若年教員研修(養護教諭)1年目
	・若年教員研修(養護教諭)2年目
	・若年教員研修(養護教諭)3年目
	・中堅教諭等資質向上研修(養護教諭)
新任保健主事	・小・中・義務教育・特別支援学校 新任保健主事研修



## 【受講者の感想】

- 感染症対策に配慮した水泳指導の実際について学びました。児童を水の事故から守る丁寧な指導が必要であることを改めて認識しました。(若1年研修・小学校)
- コロナ禍やSNSの影響により生徒の体力低下を日々実感しています。体育授業や座り休み、部活動でも体調不良を訴える生徒が増えている中、今回の研修は素早い察知と迅速な対応をする上でもとても役立つ時間でした。(若1年研修・中学校)
- 教員3年目としての責任がより芽生え、今後も研究と修養に励み、自己研鑽に努めたいという自覚がはっきりしました。自分の授業で体育好きな生徒を育てます。(若3年研修・高校)
- 協議の中で、様々な実践的アイデアを得られました。ミドルリーダーとしての役割を意識して、養護教諭の専門性を発揮していきたいです。(中堅研修・養護)

## 《令和4年度 専門研修(短期研修)講座》

対象	講座名	講師
幼・小・特	「運動的な遊び・運動遊び」	岐阜大学 教授 春日 晃章
中・高・特	「保健の授業づくり」	東海大学 教授 森 良一
小・中・特	「表現リズム遊び」	筑波大学 教授 寺山 由美
中・高・特	「体つくり運動」	筑波大学 准教授 三田部 勇
養護教諭	「学校における救急処置」	まえだ整形外科 博多ひざスポーツクリニック 院長 前田 朗 九州大学病院眼科 医師
小・特	「小学校の体育の授業づくり(理論・実技編)」	帝京大学 教授 高田 彰成
小・特	「小学校の体育の授業づくり(実技編)」	国士館大学 教授 細越 淳二
養護教諭	「養護教諭の資質向上」	愛知教育大学 名誉教授 後藤 ひとみ
小・中・特	「陸上運動系」	国士館大学 講師 陳 洋明
小・中・高・特	「特別支援学校の体育の授業づくり」	東海大学 教授 内田 匠輔
小・中・高・特	「共生の視点に立った体育学習の進め方」	横浜国立大学 教授 梅澤 秋久
小・中・特	「器械運動」	宮崎大学 教授 三輪 佳見
小・特	「ゲーム・ボール運動(ゴール型)」	立命館大学 教授 大友 智
小・中・高・特	「健康教育」	横浜国立大学 教授 物部 博文
中・高・特	「球技の授業づくり」	日本女子体育大学 准教授 須甲 理生
中・高・特	「体育理論」	早稲田大学 准教授 深見 英一郎
中・高・特	「体育の授業づくり(高・公開授業)」	福岡教育大学 教授 本多 壮太郎
小・中・高・特	「体力向上の方策」	西九州大学 准教授 松本 大輔
幼・小・中・高・特	「育て上手のコーチング」	福岡大学 教授 乾 真寛
小・特	「体育の授業づくり(小・公開授業)」	日本体育大学 教授 白旗 和也
養護教諭	「養護教諭が行うフィジカルアセスメント」	岡山大学大学院 教授 松枝 瞳美
中・高・特	「中・高の体育の授業づくり(理論編)」	桐蔭横浜大学 教授 佐藤 豊

## 《令和4年度 保健体育研修講座》

豊かなスポーツライフにつながるための授業づくりや授業評価方法の理解についての講義・演習のほか、受講者の主題に基づいた研究構築について検討します。また、運動の楽しさを実感できる授業づくりや授業分析の方法や本県の体育・スポーツ行政等を理解する講座を設定します。	
多様化・複雑化する健康課題の解決に向けた関係機関や家庭、地域との連携・協働のあり方について学ぶとともに、学校保健活動を組織的に推進するマネジメント力を身に付けるため実践的・専門的な研修を設定します。	
回	研修目標
1	・授業研究の進め方、これからの体育科・保健体育科授業の在り方について理解する
2	・保健教育について理解を深める
3	・保健室経営計画作成の意義について理解を深める ・学校保健活動推進における養護教諭の役割について理解を深める
4	・専門研修(短期研修)講座に参加することで専門的な知識・技能を身に付ける
5	・授業づくりの方法等を理解する ・授業評価(分析)の基礎を理解する
6	・プレゼンテーションの作成と発表について理解を深める ・学校組織において求められる養護教諭の役割についての理解を深めるとともに、中間発表を行い、今後の課題を明らかにする
7	・ブレゼンテーションの作成と発表について理解を深める ・学校組織において求められる養護教諭の役割についての理解を深めるとともに、中間発表を行い、今後の課題を明らかにする
8	・授業づくりの方法等を理解する ・検証方法等を理解する
9	・代表授業研修を通して授業分析の力を高め、授業づくりについて考える
10	・事例検討を行うことにより、事例の理解と支援の在り方について理解を深める
11	・本県の体育・スポーツ行政を理解する ・研究発表の方法を理解する
12	・健康相談における養護教諭の役割について理解を深める ・研究発表及び一年間の研修の総括を行い、成果と課題を明らかにする

## 《令和4年度養護教諭研修講座》

1年間集中して体育・保健体育及び健康教育に関する研究を行い、次世代を担う教員としての資質を高めます。
1年間の研修を通じて「子供達の素敵な笑顔のために」教師として大切にしなければならないことは「学び続けること」、「言葉にこだわること」、「視野を広げること」だと感じました。特に「視野」については「虫の目(物事を深く見る目)、鳥の目(広い視野で見る目)、魚の目(時代の流れを見る目)」について具体的に知ることができました。ここで学んだ多くのことをこれから出会う子供達へ、勤務する学校へ還元できるように今後とも研鑽を重ね、教師道に励んでいきます。
久留米市立上津小学校 教諭 井口 清隆
1年間の研修を終えて
1年間の研修を終えて「子供達の素敵な笑顔のために」教師として大切にしなければならないことは「学び続けること」、「言葉にこだわること」、「視野を広げること」だと感じました。特に「視野」については「虫の目(物事を深く見る目)、鳥の目(広い視野で見る目)、魚の目(時代の流れを見る目)」について具体的に知ることができました。ここで学んだ多くのことをこれから出会う子供達へ、勤務する学校へ還元できるように今後とも研鑽を重ね、教師道に励んでいきます。
久留米市立上津小学校 教諭 井口 清隆

1年間集中して体育・保健体育及び健康教育に関する研究を行い、次世代を担う教員としての資質を高めます。

## 《過去3年間の長期派遣研修員研究テーマ一覧》

年度	研究テーマ	校種	氏名
令和3年	「仲間と関わる遊びを高める第6学年体育学習指導」 -思考と試行を位置付けた学習活動の工夫を通して-	小	井口 清隆 (久留米市立上津小学校)
	「自他の『伸び』を実感できる生徒を育てる保健体育学習指導」 -段階のねらいに応じた対話活動を通して-	中	鈴木 貴大 (大野城市立大利中学校)
	「小松 陽子 (福岡県立福岡魁誠高等学校)	高	小松 陽子 (福岡県立福岡魁誠高等学校)
令和2年	「運動への関わり方を広げることができる生徒を育てる保健体育学習指導」 -目的に応じたupdate sheetの活用を通して-	小	藤原 大輔 (大野城市立笠の森小学校)
	「自他の運動の楽しさを大切にする子供を育てる高学年体育学習指導」 -学習者相互のフィードバックを位置付けた学習過程の工夫を通して-	中	西崎 健哉 (糸島市立前原中学校)
	「運動する充実感を味わう生徒を育む保健体育学習指導」 -共生の視点を重視した「共有活動」を通して-	高	大和 忠輔 (福岡県立北筑高等学校)
令和元年	「健康について深く考える生徒を育てる保健の学習指導」 -イメージマップを活用した学習過程を通して-	小	大野 義仁 (大牟田市立明治小学校)
	「仲間と運動する楽しさを共有することができる生徒を育む保健体育学習指導」 -アダプティッド活動を位置付けた学習過程を通して-	中	二又 清成 (筑前町立三輪中学校)
	「ラグビーワールドカップ2019における児童生徒の意識の変容に関する研究」 -福岡会場観戦招待事業前後のアンケート調査から-	高	山本 崇弘 (福岡県立太宰府高等学校)

## 【1年間の研修を終えて】

1年間の研修を終えて「子供達の素敵な笑顔のために」教師として大切にしなければならないことは「学び続けること」、「言葉にこだわること」、「視野を広げること」だと感じました。特に「視野」については「虫の目(物事を深く見る目)、鳥の目(広い視野で見る目)、魚の目(時代の流れを見る目)」について具体的に知ることができました。ここで学んだ多くのことをこれから出会う子供達へ、勤務する学校へ還元できるように今後とも研鑽を重ね、教師道に励んでいきます。
久留米市立上津小学校 教諭 井口 清隆
1年間の研修を終えて
1年間の研修を終えて「子供にはじまり、子供でおわる」。4月にこの言葉を知り、研究のスタートを切った日を今も鮮明に記憶しています。研究に没頭する毎日のなかで、「言葉」「つながり」「汎用性」という3つのキーワードから、自分自身の伸びを実感しました。自分の論に必要な根拠となる「言葉」、小中高12年間の系統性である「つながり」、自分の研究にとどまらず、他の先生方に発展的に活用していただける「汎用性」です。検証授業で見た子供の目の輝きを忘れず、今後とも研鑽と修養に励みます。
大野城市立大利中学校 教諭 鈴木 貴大

研究は、子供にはじまり、子供でおわる」。4月にこの言葉を知り、研究のスタートを切った日を今も鮮明に記憶しています。研究に没頭する毎日のなかで、「言葉」「つながり」「汎用性」という3つのキーワードから、自分自身の伸びを実感しました。自分の論に必要な根拠となる「言葉」、小中高12年間の系統性である「つながり」、自分の研究にとどまらず、他の先生方に発展的に活用していただける「汎用性」です。検証授業で見た子供の目の輝きを忘れず、今後とも研鑽と修養に励みます。
貴重な経験をさせていただき、たくさんの気付きを与えていただきました。ここで一年間研修できたという素敵なお縁に感謝しています。小・中とのつながりの大切さ、これまでの指導の大切さ、改めて気付くことができました。今後も、自分の経験や思い込みばかりで進めるような授業ではなく、意図や根拠、こだわりをもって授業に取り組み、「未来を生きる生徒のため」に、生徒の笑顔がはじけるような授業ができるように、学び続けていこうと思います。
福岡県立福岡魁誠高等学校 教諭 小松 陽子
貴重な経験をさせていただきました。ここで一年間研修できたという素敵なお縁に感謝しています。小・中とのつながりの大切さ、これまでの指導の大切さ、改めて気付くことができました。今後も、自分の経験や思い込みばかりで進めるような授業ではなく、意図や根拠、こだわりをもって授業に取り組み、「未来を生きる生徒のため」に、生徒の笑顔がはじけるような授業ができるように、学び続けていこうと思います。
福岡県立福岡魁誠高等学校 教諭 小松 陽子